

東京女子大學
日本文學研究會

日本文學

第二十八號

目次

いわゆる美的生活論争・資料(その一)

佐藤 勝(一)

式子内親王研究

鍵本紀子(二五)

室生犀星研究

田中久美子(三四)

——散文にあらわれた詩的精神——

時代を通して見た擬声語・擬態語

前島年子(四三)

待遇表現の考察

塩口玲子(五)

文明開化期における訳語の研究

田島尚子(七〇)

——英和对訳袖珍辞書を中心として——

借用中国語についての一考察

森 林泉子(八六)

——近代日本語形成の一要素として見た——

記号論理から見た日本語の表現

寺内光子(一二三)

資料

沢村胡夷詩初出年表

大嶋知子(一〇五)